



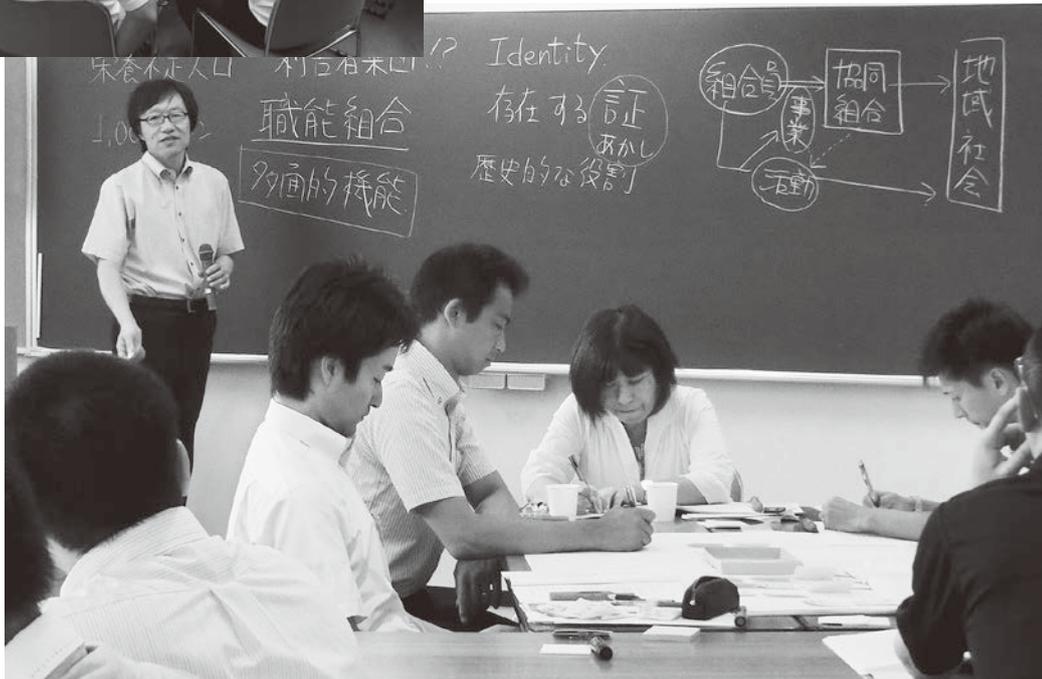
# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2016 **10**



福井県立大学 経済学部 教授 北川 太一 氏



8月23日(火)～24日(水)、コープこうべ協同学苑(兵庫県三木市)にて、兵庫JCC「第1回虹の仲間づくりカレッジ」を開催、43人が参加しました。このセミナーは、兵庫県内を中心とした協同組合(生協・農協・漁協・森林組合)の職員の交流を通して、協同組合の役割を確認し、自分の仕事とのかかわりを見つけ、つながりについて考えることを目的として開催されました。

2日間の研修を通し、次世代を担う協同組合の役職員が、ともに学び交流を深めました。(関連記事 P.3)



神戸市民生活協同組合 専務理事  
兵庫県生活協同組合連合会 理事

## 岡田 勇

(おかだ・いさむ)

## 組合員に寄り添って

NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」が好評であった。高度成長期に家庭用製品の商品試験を掲載した雑誌をめぐるドラマである。ここで描かれたように国民の安全への希求に応えたその後の企業等の努力が、製品の安全性を高め、火災予防に大きく貢献してきた。

神戸市民生協の設立は昭和30年、火災共済事業からスタートした。神戸市消防局の資料によると、昭和30年の建物火災件数は459件だが、昨年は259件と減少してきている。時代背景の異なりによる住民からの報告の有無や統計の取り方の違いもあり、実際はこの数字以上に減少していると聞く。

確かに昭和30、40年代の私の記憶でも火災は頻発していた。しかも当時の家は燃えやすく、出火建物の全焼はもちろん、周囲への延焼も稀なことではなかった。先に述べた製品の安全性の向上に加え、建物構造の不燃化や住民の防火意識の醸成が、その後の住宅火災の減少につながってきた。

しかしながら、火災件数が減ったとはいえ、今も火災による被災者の精神的ダメージは計り知れず、近年は家の価値が高く高価な家財も多いため、火災による経済的ダメージも大きい。こ

の経済的ダメージの回復には、我々の扱う火災共済の果たす役割は以前と変わらず大きい。そして、火災共済により早く元の生活を取り戻せることができらるならば、精神的ダメージも併せて和らげることができるものと思う。

神戸市民生協は、組合員に寄り添う存在でありたいと考えている。その例として、新聞の火災記事などの被災情報を見ながら、その情報から組合員の被災に気づき、被災者が火災共済の請求に気が回っていない中で必要書類をお届けし、「共済金のお支払いはご安心ください」とお伝えすることで、驚かれるとともに深く感謝されたこともある。

火災共済からスタートして60年余り、現在は医療共済、こども共済、交通災害共済等によっても安心を届けている。組合員からも「安い掛金で安心をいただいています」「対応が早く助かりました」との声を多くいただく。今後も「支え合い・助け合いの市民共済」の理念のもと、地域に密着した、地域から信頼される生協であり続けるのが我々の使命であると考えている。

## CONTENTS

- |   |   |
|---|---|
| 2. 想点   | 5. 単協通信 阪神医療生活協同組合／<br>近畿労働金庫兵庫地区統括本部           |
| 3. 兵庫 JCC「虹の仲間づくりカレッジ」報告／<br>兵協連「第2回 生活問題研究会」見学研修 報告    | 6. 協同組合のかけ橋                                     |
| 4. 第28回 近畿地区生協・行政合同会議 報告／<br>兵庫県・兵協連 共催 第19回「監事研修会」のご案内 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓                               |
|   | 8. 大学生協同組合関西西北陸事業連合 お知らせ／<br>赤い羽根共同募金／県連日誌／編集後記 |

## “共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ

### 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」で協同組合の仲間が集う

2012年の国際協同組合年を契機とし、協同組合の役割を模索する動きが広がっています。県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）では、次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、くらし、地域、社会の中で果たすべき役割について、ともに考えるセミナーを2015年度に開催しました。2016年度は、「虹の仲間づくりカレッジ」として全3回の連続講座を開催します。

第1回目は、8月23日(火)～24日(水)、「県内協同組合の職員の交流を通じた協同組合間協同の実現」を目的に、生活協同組合コープこうべ協同学苑にて開催、43人が参加しました。1日目は、各協同組合から「食・生産をめぐる活動」について報告の後、大学生協 京阪神北陸統合事業部 フードサービス事業部 金子 秀美氏より「大学生の食の実態と大学生協の取り組み」について講演がありました。2日目は、福井県立大学 経済学部 教授 北川 太一氏より「これからの社会における協同組合の役割～食と農に根ざしたより良いくらしと、豊かな地域社会を創るために～」と題して、2012年の国連・国際協同組合年（IYC）のねらいと成果、協同組合の共益と公益や協同組合間協同の重要性について講演がありました。参加者は、それぞれの講演を受けてグループワークを行い、印象に残ったキーワードなどを出し合いながら、大学生の解決したい食の課題を協同組合で何ができるか考えました。2日間を通して、協同組合について学び、交流を深めるセミナーとなりました。



大学生の食育の重要性について話す金子 秀美氏



自身の仕事とのかかわりから何ができるかグループワークを行いました

#### 【兵庫県協同組合連絡協議会（＝兵庫 JCC）】

CO-OP(生協)、JA(農協)、JF(漁協)、Jforest(森林組合)など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。

## ～新しくなった食品表示ルールについて学ぶ～ 「生活問題研究会」研修を開催

9月9日(金)、今年度の兵協連「生活問題研究会」のテーマ「新しくなった食品表示を学び、伝える」の学びとして、学習会をコープこうべ商品検査センターで実施しました。

最初に商品検査センターを見学。残留農薬・微生物・栄養成分・食品添加物・放射性物質など多岐にわたる検査について学習しました。時代とともに食の安全のための検査から安心のための検査に、組合員のニーズも変わってきていることを見て・聞いて実感しました。

見学後は、コープこうべ 総合品質保証室 統括部長 古山みゆき氏より、「食品表示の基本ルール」と題して、2015年4月に施行された「食品表示法」について、旧制度からの変更点や生鮮食品、加工食品の表示ルールを実際の商品を見ながら、お話しいただきました。

今回の学習会で学んだことから、消費者にとって必要な表示は何か、変わった表示の見方をわかりやすく組合員への伝える方法を研究会で検討していきます。



コープこうべ商品検査センターを見学



クッキーやプリン等、表示ルールを確認しました

## 安全・安心な暮らしを支えるための活動の交流と連携を ～第28回近畿地区生協・行政合同会議～

テーマ

「安心してくらせる地域社会づくりをめざして」

8月29日(月)、「第28回近畿地区生協・行政合同会議」が兵庫県民会館にて開催されました。この会議は、京都・大阪・福井・滋賀・奈良・和歌山・兵庫の近畿2府5県の府県生協連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」の主催により開催。地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的として毎年開催しています。

当日は、厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 消費生活協同組合業務室をはじめ、日本生協連、近畿地区2府5県の生協行政担当者および生協連役員の方の計45名が参加。全国の生協の概況報告や意見交換が行われました。

また、「2050年超高齢社会のコミュニティ構想について」をテーマに京都大学経営管理大学院 院長若林 靖永氏が特別報告。時代や環境の変化に地域や生協関係者が自らの思いやニーズを発見し、仕組みを育てる取り組みが必要不可欠なことについて報告がありました。次に、兵庫県企画県民部地域創



特別報告 若林 靖永氏

生課 井ノ本 知明 企画官による「多様性と連携が織りなす兵庫の地域創生について」、大阪いずみ市民生活協同組合 藤井 克裕 理事長による「コープの電気事業について」、全国大学生生活協同組合連合会 京滋・奈良ブロック学生事務局 中村 真悠氏による「大学生協の消費者教育の取り組みについて」、適格消費者団体 特定非営利活動法人 消費者支援機構 関西 榎 彰徳 理事長より、消費者支援機構 関西 (KC's) の活動報告「差止請求訴訟から被害回復～」が行われ、現状の問題点や活動の方向性などを共有しました。また、引き続き開催された懇親会では情報交換を含め、貴重な交流の場となりました。



## 兵庫県・兵協連 共催 第19回「監事研修会」のご案内

組織運営の健全性を高め、取り組みの進捗状況や補強すべき課題などについて正しくご理解いただくために、兵庫県生協連では、監事および職員を対象に監事研修会を開催しています。今年度の「監事研修会」は、兵庫県より「指導検査」にもとづき具体的な指導をいただき、グループディスカッションでは、講義内容の疑問点や日常の監査活動などについて交流いただきます。会員生協の監事、担当職員のみなさまのご参加をお待ちいたしております。

日時：11月11日(金) 13時30分～16時30分

会場：兵庫県民会館 12階 1202号室

定員：50名

対象：会員生協の監事・担当職員

内容：◆講演

### 「監事の任務と責任」

講師：MMコンサルティング 三宅 充氏

### 「生協の指導検査を実施して」

講師：兵庫県企画県民部消費生活課 主幹 石田 千春氏

◆グループディスカッション



監事研修会（2015年度）

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 TEL. (078) 391-8634

「忘れてはならない夏がある」

上映会&戦争体験を聞く

8月11日の「山の日」、尼崎在住で原爆被爆体験者の体験談DVD上映会を開催。その後、戦争体験の語りとして、海軍少年兵として入隊し、敗戦時広島県呉市で16才10ヶ月だった男性の体験談、また、沖縄で伊江島飛行場建設に勤労働員され、戦闘激化する中、家族で山々を逃げ惑い、家族全員が収容所に入ってマリアで苦勞した男性の体験談を参加者125名で伺い、その当時に思いをめぐらせました。

参加者からは、「原爆を体験された方のお話しを、詳しくお聞きすることが今までなかったので貴重な時間だった。尼崎・沖縄の戦争当時のお話も聞かせていただき、知らないことばかりだったと感じた。戦争をしてはいけないという思いを強くしました」という感想でした。

太平洋戦争は、まだ71年前のこと。風化させてはならないと感じた一日でした。

(通信員 大石眞吾)



語り部さんよりお話しを伺いました

コープ自然派兵庫の親子イベントに

ろうきん・NPOが「ラボ

これから協同組合間協同・NPOとの連携を進めます」

近畿ろうきん兵庫地区では、組合員の豊かな生活への寄与という協同組合組織の共通理念のもと、兵庫県下の購買生協との連携を強化していきます。具体的には生協とろうきん間で①生協組合員のろうきん融資利用の覚書締結 ②個配カタログや生協店舗を通じた、生協組合員向けろうきん情報紙「こもんず」の配布活動などの取組みを進め、その一環として、生協・組合員さんが主催するイベントや学習会に、金融や消費者教育関連テーマでの講師派遣を行っています。

この度は、コープ自然派兵庫(LPAの会)主催の親子講座「遊んじゃえ!学んじゃえ!食べ物とくらし」(8月20日、会場:神戸市中央区)でのコラボ企画が実現しました。集まった子どもたちは、NPO法人C・キッズ



主催者からC・キッズネットワークを紹介。「なにが始まるの?」興味津々の子どもたち。



ジュースのペットボトルを持ちあげると、ジュースの砂糖含有量と同じ本数のスティックシュガーが長く連なっています。「わぁ!砂糖がこんなに入ってる!」



ろうきんミニ講座「ろうきんはコープ自然派と同じ生協の仲間です」

ネットワーク※が進行するゲームで楽しく遊びながら、いのちの大切さやフードロス、おやつ選び方を学び、クイズに答える元気な声が飛び交っていたのが印象的でした。お母さん方には、ろうきんと銀行の違いや、可処分所得を増やす知恵としての「ローン豆知識」をテーマに「ろうきんミニ講座」を実施後、お子さんのプログラムに合流いただきました。今後も機会を捉えて、生協・NPO・ろうきん相互の分野を活かした学びあいの中で、協同組合間協同や連携を進めていきます。

(通信員 井奥眞貴子)

※ NPO 法人C・キッズネットワークは、子どもから大人まで対象者に合わせた「楽しく分かりやすい講座」で消費者教育の取組みを行っています。2009年近畿ろうきんNPOアワード奨励賞受賞。(他受賞歴多数)

# 協同組合のかけ橋

## JF (一財) 兵庫県水産振興基金

### カニ<sup>ぎょしょう</sup>魚醬入りソフトクリームの 販売開始

JF 但馬では、地元で水揚げされる香住ガニ（ベニズワイガニ）を原料にした魚醬を使ったソフトクリームの販売を8月から開始しました。

ソフトクリームに使われる魚醬は、地元で水揚げされるアマエビ・ノドグロ・ドギ（ノロゲンゲ）、ハタハタをそれぞれ原料にした「但馬魚醬」5品のうちの1つで、足が取れ極端に価格が下がった香住ガニや、小さいドギやハタハタといった未利用魚をJFが買い上げて加工原料にすることで漁業収入の向上へと繋げようと、同JFや大徳醤油（株）（養父市）などが試行錯誤を重ね、約4年をかけて商品化に成功したものです。なかでも、カニを使った魚醬は全国でも珍しいものです。

「カニしょゆとクリーム」と命名されたこのソフトクリームを考案したのは同JF職員の皆さんで、魚醬のkokがアクセントとなり、塩キャラメルに似て、ほのかにカニの風味が感じられる仕上がりになっています。

PR担当の同JF職員 鈴木 俊哉さんは「香住ガニと香住の地名を共に売り込めればと思っている。香住ならではのご当地ソフトクリームを是非味わってほしい」と話しています。このソフトクリームは、香美町香住区の同JF「遊魚館」で通年販売されており、「カニしょゆと」と、バニラの「ミックス」は各380円で好評発売中。今後はイベントなどでも販売していく予定です。

なお、「但馬魚醬」も9月中旬から、同JF通販サイトや津居山、柴山、香住の各直売店で販売を



「是非、香住で味わってほしい」と話す鈴木さん

始めるほか、県内産のノリに、カニやエビの魚醬を合わせた味付け海苔の商品化も進められています。

## JA 兵庫県 JA 女性組織連絡会

### 安心して暮らせる社会づくり みんなの声かけ運動応援協定締結

県JA女性組織連絡会は7月19日、みんなの声かけ運動応援協定を兵庫県と締結しました。

同運動は、ユニバーサル社会\*づくりの一つとして、障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方をはじめ、誰もが街中で困っているときに、みんなが声をかけて助け合おうという県民運動。平成28年3月末時点で、学校や企業を含む県内117団体、構成員数12万3,770人が応援協定を締結しており、このたび新たに29団体が同運動に加わりました。締結式は、「平成28年度ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会」の中で行われ、締結団体の代表者が井戸敏三知事と協定書を取り交わしました。

同連絡会では、今後同運動の周知に努め、地域に暮らすJA女性会会員一人一人の意識を高めることで、誰もが安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

\*ユニバーサル社会とは、年齢、性別、障害の有無、文化などの違いに関わりなく誰もが地域社会の一員として支え合う中で安心して暮らし、一人一人が持てる力を発揮して元気に活動できる社会



井戸知事と協定書を取り交わす吉岡代表世話人



28年度新たに応援協定を締結した団体代表者



## 高齢者に多い消費者トラブルの啓発リーフレット 「こんな手口に気をつけて!!」を作成しました

高齢者（65歳以上）の消費者トラブルは、消費生活に係る苦情相談全体の3割近くを占め、高齢になるほど被害額が増えています。

多くの高齢者は将来の生活資金や自分の健康への不安を感じており、悪質な事業者はそこにつけ込み、高齢者の財産を狙っています。被害を防ぐためには、その手口を知って冷静に対応することが大切です。

そこで、高齢者に係る消費者トラブルの情報を提供するリーフレット「こんな手口に気をつけて!!」を作成しました。

被害の多い手口についてイラストを用いて分かりやすく表示し、文字を大きくすることにより、見やすくして注意喚起を行っています。裏面には「消費者ホットライン『188（いやや）』」の電話操作方法を分かりやすく掲載しています。

「おかしいな、困ったな」と思った時には、ひとりで悩まず、「消費者ホットライン『188（いやや）』」に電話して、県や市町の消費生活相談窓口にご相談していただくとともに、家族や地域の方々に、巧妙な手口から高齢者を守っていただけるよう配布します。

リーフレットの配布をご希望の方は、生活科学総合センター（TEL：078-302-4000）にご連絡ください。下記のURLからもリーフレットをご覧ください。

<http://www.seiken.server-shared.com/koureisiamuke26.pdf>

（兵庫県生活科学総合センター）



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。はじめに、ひょうご消費者ネットのシンポジウムのご案内をさせていただきます。シンポのテーマは「ストップ! ザ泣き寝入り2〜もうだまってへんで! 声を出して、つながって、強い消費者へ〜」です。「この解約金、高すぎるのでは?」「広告の表示と実物が違いすぎるのでは?」例えばこんな事態に出遭った時、おかしいと主張できる消費者になりましょう! 適格消費者団体は、そんな時、消費者に代わって、差し止め請求を行える団体です。みなさまとつながることで、強い消費者になっていきましょう。そんなシンポジウムです。11月の三田では、タン・ミッシェル先生に基調講演をしていただきます。勧誘の要請を受けていない訪問販売禁止の重要性などをわかりやすく、楽しくお話ください。それから、寸劇でのひょうご消費者ネットの活動紹介、身近な消費者問題を〇×クイズで楽しく学ぶコーナーもあります。みなさま、お気軽にご参加ください。

シンポのご紹介をしているうちに、字数がなくなってしまいました。アフィリエイトのトラブルの続きは、また次回とさせていただきます。では、また来月号で。  
(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

● 今後のシンポの日程と会場案内 ● 11月5日(土) 13:30~16:15 会場: 三田市ウッディタウン市民センター  
12月3日(土) 13:30~16:15 会場: 兵庫県民会館

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



# MOVE

## お知らせ

### 生活協同組合連合会 大学生生活協同組合関西西北陸事業連合

2016年9月1日(木)

『生活協同組合連合会 大学生協阪神事業連合』は、「北陸事業連合」、「京都事業連合」と組織統合し『生活協同組合連合会 大学生生活協同組合関西西北陸事業連合』となりました。富山・石川・福井・京都・滋賀・奈良・大阪・和歌山・兵庫（2府7県）の広域連合体です。

生活協同組合連合会 大学生生活協同組合関西西北陸事業連合

郵便番号：532-0004

住所：大阪市淀川区西宮原2丁目7-15 大学生協大阪会館内

電話番号：06-7659-9799（役員室）

FAX番号：06-6396-4530

代表者：理事長 小山修平



## 助け合い 広がる つながる 赤い羽根

10月1日から、赤い羽根共同募金運動が始まります。

◆  
お寄せいただいた寄付金は、

兵庫県内の地域福祉活動の推進に役立てられます。

◆  
また、寄付金の一部は、大規模災害発生時における被災地でのボランティア活動を支援するために積み立てられています。

◆  
皆さまに支えられて、70年目を迎える赤い羽根共同募金運動。  
今年度も、あたたかいご協力をお願いします。



兵庫県共同募金会マスコット  
あかりはねちゃん

社会福祉法人 兵庫県共同募金会  
[www.akaihane-hyogo.or.jp](http://www.akaihane-hyogo.or.jp)

## 県連日誌

10月3日(月) 兵協連第3回理事会 (県民会館 1201)

10月6日(木) 2016年度 兵庫県生協大会 (県民会館 けんみんホール)

10月7日(金)～8日(土) 兵協連第1回 「東日本被災地支援活動」 (宮城県)

10月15日(土)～16日(日) 兵協連 保健・医療・福祉研究会 研修 (奈良県 あすなら苑)

10月26日(水) 兵協連第7回労働安全衛生研修・学習会 (兵庫県農業共済会館 4階)

10月27日(木) 兵協連 監事会 (上期監査) (兵協連事務所)

### 編集後記

「生活問題研究会」のメンバー皆様と  
コープこうべ商品検査センターへ見学研究  
修(P3参照)に行ってみました。  
新しくなった食品表示のルールについて  
学んできたのですが、今までの食品の表  
示には、目的が異なる3つの法律があり、  
分かりにくいものとなっていたのが、1  
つの法律になり、消費者にとって分かり  
やすい表示になったそうです。消費者(私)  
が買い物をする時は食品の何を見ているか  
：お話しを聞きながら思い返しているの  
ですが、賞味期限・消費期限しか見てい  
ません。食品パッケージに様々な  
情報があることを改めて勉強して、先ず  
は、加工食品で自分がどれだけ塩分を摂  
取しているか、表示されることになった  
食塩相当量をチェックしてみたいと思っ  
ます。(大戸)